

マーケットの動き（2022年5月9日～5月13日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

前週末に発表された米国雇用統計の結果を受けて、米国の金融引き締めに対する警戒感が一層高まり下落してスタートしました。その後は、原油などの商品市況の悪化に加え、米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回る上昇となったことを受け4日続落となりました。週末には米国長期金利の低下や米国株式先物の堅調な推移を好感し反発しましたが、週を通しては下落となりました。

投資環境見通し（2022年5月）

決算発表一巡後は底堅く推移

円安ドル高の進行や経済活動の再開などが企業業績にプラスとみられる一方、ロシアによるウクライナ侵攻、インフレ動向、中国におけるロックダウンなどの不透明材料も多く、1～3月期決算は増収増益となるも、企業による今後の業績見通しについては慎重な内容になるとみえています。5月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）を通過し、決算発表が一巡した後は、米国金融政策や企業業績を巡る先行き不透明感が一旦後退するとみられます。国内株式相場は、投資家による割安感が強まった銘柄を物色する動きや、企業による自社株買いに支えられ、株価は底堅く推移するとみえています。

	5月13日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,864.20	▲2.70%	▲1.37%	▲8.64%	0.82%
日経平均株価	26,427.65	▲2.13%	▲1.55%	▲10.75%	▲3.72%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202205_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2021年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成